

議 会 だより



小豆島町

No.44

平成29年5月1日 発行



新たな一歩に胸をふくらませ

小豆島中央高校入学式

- 審議議案
3月定例会・臨時会について……………2～5
- 一般質問
10名の議員が質問……………6～12
- 視察研修報告……………13
- 小学生議会……………14・15
- 住民の声・まちの力……………16

3月定例会は、2月27日から3月16日まで18日間の会期で開かれました。初日に、町長の29年度施政方針の演説があり、小豆島の素晴らしい宝物を守り、磨いて次の世代に引き継いでいき、新しい魅力と可能性をつくりあげるために、「健康づくり」「地域の福祉」「教育・子育て」「産業づくり」「文化・アート」「住まい・暮らし」の分野ごとに予算編成し、実践していくことを表明しました。

一般質問には、10人の議員が登壇し、産業・防災・教育・福祉・水道など、多方面にわたって論戦を展開しました。

また、条例改正や補正予算などを審議し、原案のとおり可決しました。

29年度一般会計、特別会計など合わせて8会計については、総務建設常任委員会、教育民生常任委員会にそれぞれ付託し、集中審査を行い、すべての予算を原案のとおり可決しました。

平成29年度に実施する主な事業

I 健康づくり

小豆島中央病院を核とした地域包括ケアシステムによる地域づくり

地域包括ケアシステム	2億5,420万円
オリーブを用いた健康長寿の島づくり	482万円
保健医療福祉関係職修学資金	1,896万円

II 地域の福祉

障がいをもった人もそうでない人も充実して過ごせる島づくりの実現へ

中学校への通級指導員の配置	2,275万円
ぬくもりと希望の島づくりチーム	191万円
劇団ままごとによるワークショップ	90万円

III 教育・子育て

ふるさとを愛し、人間性豊かで、たくましく未来に生きる人づくり

小豆島中学校吹奏楽部楽器購入	600万円
三都活性化施設建設	1億7,262万円
内海保育所耐震診断	70万円

IV 産業づくり

誰もが能力を活かせる職場の創造を目指して

古民家などの活用による集落再生	2,600万円
オリーブサミット・オリーブの冠要望	158万円
寒霞溪山頂Wi-Fi整備	700万円

V 文化・アート

宝物の継承とアートによる新たな魅力づくりを目指して

小豆島農村歌舞伎調査	178万円
東瀬戸内文化圏の世界遺産化推進	500万円
小豆島未来大学	1,000万円

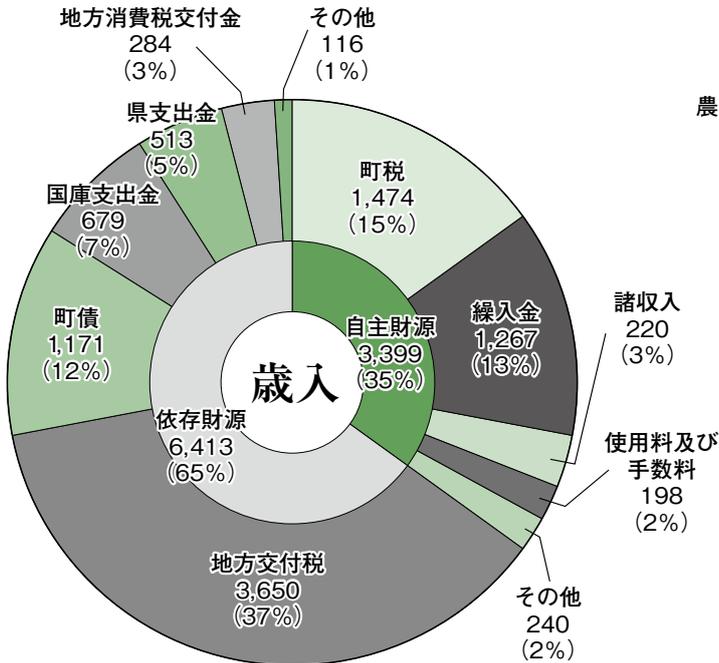
VI 住まい・暮らし

誰もが安心して暮らし続けられる住まい（居場所）づくりを目指して

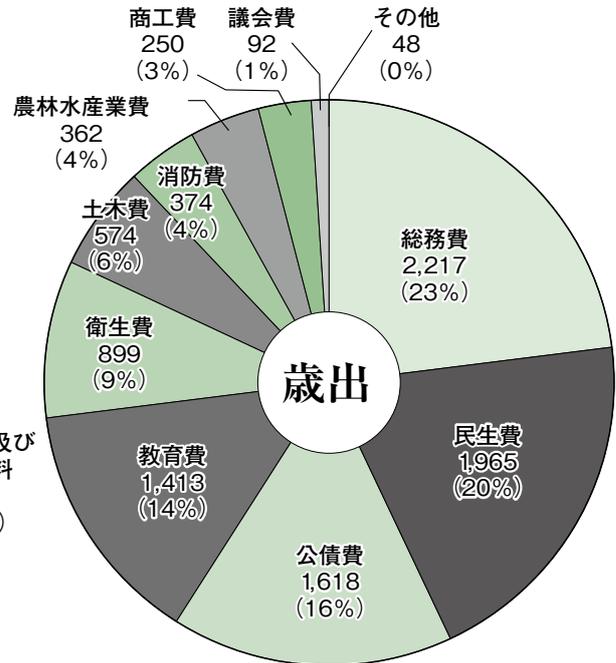
雇用促進住宅購入	3,764万円
新高校通学支援	158万円
一般廃棄物最終処分場整備	1億494万円

-ぬくもりと希望の島をめざして-

歳入内訳



歳出内訳



(単位は百万円、構成比は%、百万円未満は四捨五入)
 ※端数処理の関係上、数値が合わない場合がある

【委員会意見】

- 商工観光課 ⇒ 小豆島観光協会負担金については、協会の理事会等の中で十分検討し、公平な負担となるよう協会に対して申し入れること。
- 高齢者福祉課 ⇒ 介護職員の処遇改善について検討願いたい。
- 社会教育課 ⇒ 三都公民館の建設については十分に検討・周知をされたい。
- 子育て共育課 ⇒ 通園方法等について、検討願いたい。
- 環境衛生課 ⇒ 複数年契約等、経費削減を検討されたい。
⇒ ごみの削減に努められたい。
- 介護保険施設 ⇒ 部門別収益の精査を行い、給食部門の活用など、収益の改善に努められたい。

付託された条例案件4件と予算案件8件について延べ4日間にわたって審議を行い、次の意見をつけて、賛成多数で原案通り可決しました。

平成29年度予算・
意見をつけて可決

審議した主な議題

補正予算

一般会計（第4号）

8億5,287万円の

減額補正予算が提出され、平成28年度の予算総額は101億9,878万円となりました。

その殆どが事業費精算によるものです。主な増減理由は、次のとおりです。

民生費

サン・オリーブ修繕料

622万円

照明制御システム等の修繕費用です。

障害者自立支援給付費

負担金等返還金

109万円

平成27年度事業実績精算による返還金です。

衛生費

小豆島中央病院企業団

出資金

1億1,290万円

小豆島中央病院企業団への出資金です。

農林水産業費

海岸漂着物等地域対策

推進事業委託料

700万円

海ゴミ回収事業です。

商工費

小豆島町商品券

発行事業委託料

▲1億1,600万円

プレミアム商品券の発行を中止したための減額です。

吉田温泉修繕料

528万円

ボイラー施設の修繕費用です。

土木費

県営事業負担金

900万円

国道436号線の改修事業等が増加したためです。

教育費

高校生海外留学

支援基金積立金

1,000万円

寄付による積立です。高校生が海外留学をする際に補助を行います。

草壁保育園運営委託料

1,304万円

入所児の増加等によるものです。

私立認定こども園

整備事業補助金

858万円

事業費が増加したためです。

町立認定こども園

整備工事

▲5億3,168万円

整備計画の見直しを行うことになったための減額です。

三都活性化施設

建設工事

▲1億6,340万円

財源の見直しを行い、次年度に建設するための減額です。



三都公民館

蒲野沖田線

給水管布設工事

378万円

三都公民館売却に伴い、敷地内の給水管を敷地外へ布設替えします。

条例制定

小豆島町高校生

海外留学支援基金条例

高校生が海外留学をするときに活用してほしいと寄付があり、寄付者の意向を踏まえた条例を制定しました。

小豆島町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

マイナンバー法が施行されたことにより、町の関係条例を整備しました。

小豆島町簡易水道事業を小豆島町水道事業に統合することに伴う関係条例の整備に

4月から町内すべての簡水事業が上水事業に統合されるにあたり、町の関係条例の整備を行いました。

小豆島町介護老人福祉施設事業の整備に

現在の介護老人保健施設うちのみに加え、特別養護老人ホームうちのみを開設するにあたり、町の関係条例を整備しました。6月から介護老人保健施設の定員が70名から28名に、介護老人福祉施設の定員が60名となります。

小豆島町奨学資金貸付条例

小豆島町保健医療福祉関係職修学資金貸付条例

奨学資金・修学資金について、整備を行いました。

小豆島町介護老人福祉施設事業の設置に伴う

施設事業の設置に伴う

関係条例の整備に

関する条例

現在介護老人保健施設うちのみに加え、特別養護老人ホームうちのみを開設するにあたり、町の関係条例を整備しました。6月から介護老人保健施設の定員が70名から28名に、介護老人福祉施設の定員が60名となります。

小豆島町奨学資金貸付条例

小豆島町保健医療福祉関係職修学資金貸付条例

奨学資金・修学資金について、整備を行いました。

小豆島町印鑑条例

小豆島町税条例

小豆島町介護保険条例

小豆島町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営等の基準等を定める条例

小豆島町議会議事録

委員会の所管課分に関する事項について、所管課の名称が変更したための改正です。

中山浄水場



中山浄水場

条例の一部改正

小豆島町奨学資金貸付

条例

小豆島町保健医療福祉

関係職修学資金貸付条

例

奨学資金・修学資金

について、整備を行いました。

小豆島町印鑑条例

小豆島町税条例

小豆島町介護保険条

例

小豆島町指定地域密

着型サービス等の事

業の人員、設備及び

運営等の基準等を定

める条例

小豆島町議会議事録

委員会の所管課分

に関する事項について、

所管課の名称が変更し

たための改正です。

小豆島町議会議事録

委員会の所管課分

に関する事項について、

所管課の名称が変更し

たための改正です。

小豆島町議会議事録

委員会の所管課分

に関する事項について、

所管課の名称が変更し

たための改正です。

参議院選挙における合区
の解消に関する意見書の提出について

憲政史上初の合区による選挙が行われましたが、投票率の低下や、国のきめ細やかな施策が行き届かなくなる恐れがあるため、国に対して解消の意見書を提出しました。

機械設備に係る工事
変更後

3億2,681万円
(2,873万円増)

電気設備に係る工事
変更後

1億9,958万円
(1,350万円増)

庁舎に係る工事
変更後

1億1,988万円
(648万円増)

教育委員の任命

現教育委員の岡田恕枝氏が平成29年5月11日をもって任期満了となります。

後任として、真砂高昭氏の任命に同意しました。

また、熊坂泰忠氏、黒木治夫氏から辞職したいとの申し出がありました。そこで、後任として、中川晋氏、照下あけみ氏の任命に同意しました。

工事請負契約

内海病院跡地利用改修工事について、変更契約を行いました。



新庁舎になる旧内海病院

福祉施設に係る工事
変更後

4億9,788万円
(6,912万円増)

人事案件

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の岡秀安氏が平成29年3月31日をもって任期満了となったため、後任として、八木さゆみ氏の推薦に同意しました。任期は平成29年4月1日～平成32年3月31日です。



八木さゆみ氏
(室生)



照下あけみ氏
(馬木)



中川晋氏
(木庄)



真砂高昭氏
(池田)

平成29年5月12日以降の教育委員については次のとおりです。

区分	氏名	就任年月日	退任年月日
教育長	後藤 巧	平成27年5月12日	平成30年5月11日
委員	中川 剛 臣	平成28年5月12日	平成32年5月11日
委員	真砂 高 昭	平成29年5月12日	平成31年5月11日
委員	中川 晋	平成29年5月12日	平成30年5月11日
委員	照下 あけみ	平成29年5月12日	平成30年5月11日

3月臨時会

第1回臨時会は3月31日に開催され、条例案件1件が提案され、原案通り可決しました。

条例制定

小豆島から映像作品の素晴らしさを発信する条例

松山善三・高峰秀子夫婦の相続人から不動産及び動産の寄付があり、小豆島の発展に資する目的に活用するため、新規に条例を制定しました。

委員会活動報告

教育民生常任委員会

平成28年12月27日、平成29年2月20日の2回、委員会を開催しました。それぞれの案件に対して次のように意見を提出しました。

「これからの学校のあり方について」

- ・内海保育所の耐震診断について、早急にされたい。
- ・教育大綱において、PTAの位置付けを適切にされたい。

- ・小豆島高校の跡地を早急に県と協議をするとともに、課題である周辺の交通安全対策を検討願いたい。

「奨学金制度の見直しについて」

- ・雇用主に町施策の奨学金制度の目的・意義を説明し、行政・雇用主がともに島の雇用を図るよう対処願いたい。
- ・貸付け申込みの期限後においても申込みが可能であることを周知願いたい。



荒井 勇 議員

船員養成学校の誘致を

町「国土交通省の海事局長と

会って話をしてくる」

質問 日本国内の人と物の動脈である鉄道や道路が整備されるまで人と物の流れは船でなされてきた。小豆島に住む先人は江戸時代には千石船の船主や水夫として活躍してきた。

明治時代になるとエンジン付鋼船となり中には外国航路の高級船員になる人もでてきた。四面を海で囲まれた日本国と小豆島は今後も人と物の動きは船に頼らねばならない。国内の海運業界は日本人しか雇用できないため、船員確保が困難になっている。

内海湾の海面を使い、今後新たに草壁本町地先地完成する広い埋立地を利用して船員養成学校を誘致できないか。関係機関への働きかけをぜひ願いたい。

答弁 昔から今日まで小豆島は海と共に発展してきた。島の人は「海の民」であつたと思う。瀬戸内国際芸術祭は海と島々の復権をテーマとしている。



実習船「日本丸」

に減っている。船員養成学校が小豆島で実現できればいいなと思っているので、国土交通省の海事局長と会って話をしてくる。

答弁 奨学金免除制度の利用実態は、新制度

質問 小豆島町の人口は減少を続け、定住促進の諸施策がなされている。毎年、島外へと巣立つ子供たちへの応援策で奨学資金及び返還免除制度は重要と考えるが、利用の実態は。また、本年度当初予算説明書には「ふるさとを愛し、人間性豊かで、たくましく未来に生きるひとつづくり」と大きく書かれている。若者たちが再びふるさとを目指すためには、ふるさとを愛する教育を更に充実させるとともに、先生方に対する指導も深化すべきでは。

の指導については、研

教職員への指導については、研究



中松 和彦 議員

子供たちが再び

故郷を目指すには

町「今後、より良いふるさと教育の

推進を目指してゆく」

となった平成24年度以降4年間で98人の利用者があり、うち25人が町内に居住している。旧制度より年間2人強の増加となっている。ふるさと教育につい



4月に開校された小豆島中央高校



柴田 初子 議員

障がい者支援について

町「障がい者支援施設とグループホームの設置を含め検討する」

質問 知的障がい者の宿泊施設は、現在池田二面地区のグループホーム「ソレイユ」1ヶ所のみ。施政方針での障がい者支援施設設置とあるがどのような施設のことか。

答弁 二面地区のグループホームは最初の一步である。香川県教育委員会が小豆島に特別支援学校を設置する取り組みが始まっている。設置に合わせて総合的な支援施設を整備したい。障がい者支援施設とは、重度の障害者が入り、昼夜にわたり多様な支援が受けられる施設である。グループホームの設置も含めて検討していく。跡地の利用については特別支援学校の設置場所の動向を見ながら土庄町と一緒に検討していく。

健康づくりについて

町「とてもいい提案だぜひ実現をしていきたい」

質問 長野県箕輪町では健康アカデミー事業を通して健康のレベルアップなど大きな成果をあげている。町でも今、実施している事業を拡大し、小豆島町版の健康アカデミー事業を開始しては。

答弁 健康づくりは個人の幸せだけでなく町全体の幸せにつながる。また、医療費、介護費の抑制にもなる。アカデミーを開校する際には検討を重ね、生活習慣病改善により効果の高いものを目指したい。



グループホーム「ソレイユ」

誰かが参加できる健康づくりスタイルを確立していく。



安井 信之 議員

施策の改正方法について

町「議員各位の意見も伺いながら必要な施策には、パブリックコメントを実施したい」

質問 奨学金制度の改正案作成時はどのような過程で作成されたのか。

をいただいた上で、決定をすることを心がけている。今後の施策の決定に当たり、議員各位の意見も伺いながら必要な施策には、パブリックコメントを実施したい。

答弁 (町長) 小さな自治体であるからこそ住民と行政の垣根をできるだけ低くする必要があるのではないかという意見については、全く同感する。

可能な限り会議は公開を原則に進めている。また、縦割りではなく横割りというところで、組織が一体となり柔軟に対応できるように、関係課の参加を広く求めている。

施策の決定に当たっては、委員に十分議論

重要な施策、計画については、パブリックコメントを実施したい。(教育部長) 今回の奨学金制度の改正については、2回の教育民生常任委員会において意見を伺い本会議に上

「小豆島町教育大綱(案)についての意見公募(パブリックコメント)」

平成27年4月1日より、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が施行されたことに伴い、「小豆島町総合教育会議」を開催し、教育、学術及び文化の振興の関する総合的な施策の策定することとなりました。小豆島町では、平成27年6月からこれまでに16回の総合教育会議を開催し、小豆島町教育大綱を策定するための議論を重ねてきました。このたび、小豆島町教育大綱(案)を作成しましたので、広く町民の皆さまのご意見を募集いたします。

小豆島町教育大綱(案)及び意見募集の要領

- ・小豆島町教育大綱(案) (PDF: 317KB)
- ・小豆島町教育大綱(案) 概要版 (PDF: 843KB)
- ・意見募集の要領 (Word: 49KB)

☆PDFファイルの表示・印刷にはAdobe Readerが必要です。ファイルをご覧いただく場合は、Adobe Readerをダウンロード・インストールしてからご利用ください。

閲覧の方法

- ・ホームページ
- ・文書閲覧

パブリックコメントの募集



坂口 直人 議員

水道事業の広域化について

町 「理解を得た上で対応したい」

質問 広域水道事業の業務を開始しようと、香川県広域水道事業体設立準備協議会で協議している。現在、吉田地区では、水道メーターはなく、料金は一律月額千円程度である。広域水道事業が始まれば料金上がることは必至である。

サービス内容・料金・責任・現職員の継続の有無など、吉田以外の各地区についても住民に説明し、理解を得られているのか。

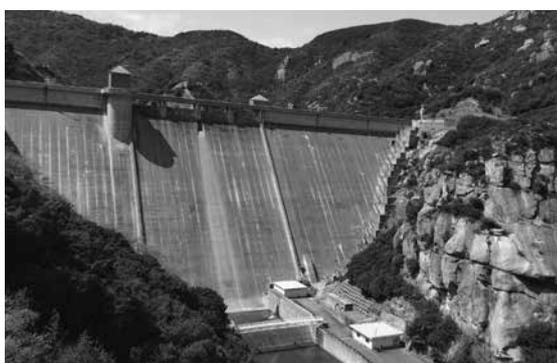
答弁 水道の広域化は、平成30年4月を目標にする。広域化の大前提は今よりも水道事業のサービスが良くなる事、

あるいは緊急時などの対応に不備がない事である。今後よく説明し、理解を得た上で対応したい。

老朽管等の更新では、小豆ブロックにおいては、中山浄水場を廃止して、肥土山浄水場から池田地区に給水する計画になっている。

簡易水道事業を上水道事業へ統合する案では、当浜、福田、吉田、中山の4地区の水道料金を現行料金のまま上水道に移行する。

また広域化による住民サービスの低下が起らないように仕組みづく



吉田ダム

内海湾（草壁）埋立ての進捗状況は

町 「平成32年度に完成の予定。関係者の意見を反映するように要望している」



秋長 正幸 議員

工業用地 3.1 ha 業に利用についてアンケートを実施したが、内容は公表できない。町からは県に対して、関係者の意見を十分に反映するように要望している。

質問 当初は、平成9年に着工して約10年で完成の計画であったが完成の時期、完成後の利用計画は、また県から主な企業へ利用について意向調査の結果は把握しているか。

答弁 本年1月末現在、102万㎡のうち97万㎡の受け入れが完了、95%の進捗率で平成32年度に完成の予定。当初の利用計画は、住宅用地 1.5 ha



現状の草壁港埋立地



藤本 博夫 議員

防災にドローン活用を

町「消防団員を訓練に参加させたい」

質問 総務省消防庁は、2017年度より全国16カ所の消防学校に「ドローン」やオフロードバイクを貸与し、訓練などで操作に慣れてもらい機器の有用性を判断するという。小豆消防署や小豆島町の対応は。

答弁 災害現場での「ドローン」の活用にはたくさんの方のメリットがある。土砂崩れの状況、河川の氾濫、低地帯への浸水状況などの早期情報収集が可能だ。一方で、問題点として墜落事故や天候等で常時活用できない事も

統合庁舎構内での交通順路の徹底を

町「安全性の向上を図っていく」

質問 オリーブバスに乗車中、老健うちの目の前の道をバスと並行して走る軽四を見た。逆走であり危険だ。構内での順路や道交法上はどんな扱いなのか。

質問 3社に対する町の指導権限はどこまで及ぶのか。3社に対する対応の違いは。

質問 3団体ともに町出資の第三セクターのくくりだ。

オリーブ公園、ふるさと村、二十四の瞳映画村の位置付けは

町「二十四の瞳映画村は設立の経緯と指定管理団体でない点が異なっている」

小豆島町での相続未登記の農地、山林、宅地等は

町「農地の約40%が相続未登記である」

質問 全国の農地面積の約2割が登記名義人が死亡している相続未登記農地、或いはそのおそれのある農地と公表された。小豆島町内での実態はどうなっているのか。山林、宅地も併せて対策は。

答弁 農水省の相続未登記に関する調査はこの農地が担い手への農地集積、集約化を進める上での阻害要因となっているための調査である。本町では農地面積1041haの約40%が相続未登記である。住民

答弁 旧内海病院があった頃から道の形状はロータリーで時計回りに進行するのが順路である。私有地内という事で法的な事には該当しない。道路の矢印や一旦停止の標識などい

答弁 小豆島オリーブ公園と小豆島ふるさと村公社は、基本財産の100%を町が出捐して設立した団体で理事長に町長、副理事長に松尾副町長が就任している。

質問 以前は町より課長補佐級が出向し、給料も町に準じていた。映画村だけ高額と聞か



敷地内のロータリー

り安全性の向上を図っていく。



二十四の瞳映画村

※出捐⇨寄付



森 崇 議員

観光の強化と 映画村付近の高潮対策について

町「高潮対策を県に要望する」

質問 小豆島は観光で発展してきた。二十四の瞳の映画が全国に広がり、紙芝居は6年間で1万人の人が観ている。ポラントニアは凄と思う。イギリスで校長をさ

答弁 名勝寒霞溪線は観光小豆島にとって守られていくべき路線であり、町とバス事業者・観光開発KKで協議をしており理解いただきたい。

ある方も中国に行った時、二十四の瞳は知っていると言われたと聞いた。二十四の瞳は当時から世界的だった。また紅雲亭行きバスが冬場に3ヶ月も欠便していることや田ノ浦線もバス便が少ないことも問題だ。田ノ浦は観光地なのに風の強い日は潮が駐車場の車に吹き付けて

いる。あの高潮から13年だ。もう放置できない。住民も協力してくれると思うが。映画村は観光客約20万人だ。しかし、駐車場近く



映画村でゴードンさんと記念撮影

の護岸が築後50年でコンクリートも摩耗しており風向きによって波が護岸を越える。県に要望する。

部落差別の解消の推進に 関する法律について

町「人権感覚の研ぎ澄まされた 地域づくりを目指す」

質問 この新しい法律は誰も反対する理由はないと思う。差別があることは人間生活において大きな障害だ。水泳で黒人の選手は

答弁 昨年11月の人権集会を見た。結婚差別に着眼した素晴らしいものだった。人権感覚の研ぎ澄まされた地域づくりを目指す。

いない。同じ水に入らせない差別だ。私は以前小豆島中学の人権劇のDVDを全国の中学校に送るべきと提案した。焦っているのではなく「人の世に熱あれ。人間に光あれ」の水平社宣言から95年にな

る。町答弁の「私達に知らない差別があるんです」は正しいと思う。人権教育強化のチャンスだ。



田浦越波の様子 (3月15日)

町長の施政方針 針について

町「少子化のスピードを少しでも緩めたい」

質問 町長の施政方針で「この物語の主人公は小豆島の人と小豆島を愛するすべての人で行政はこれを応援することだ」とある。高齢化は防げないが少子化は政策で防げると思う。若い人の意見を聞いての方針なのか。

答弁 少子化に特効薬はないと思う。昭和30年に15歳未満が33.4%だったのが今は12.6%だ。不安なことの一つは経済面という回答もあり少子化のスピードを少しでも緩めたい。

ふるさと納税の現状は

「島はひとつ」の考えは

新介護保険施設の運営は

町「趣旨に沿い、必要な事業に活用」

町「両町の壁はなくなつて来ている」

町「赤字改善に向け、経営の効率化に努める」



大川 新也 議員

- ② 資金用途の詳細は。
- ③ 返礼品の上限額は。
- ④ 平成28年度の寄付額は。

答弁 本来の趣旨に沿

質問 今年になり報道等でふるさと納税の賛否が問われてきている。

また、高市総務相が返礼品の是正を再検討の考えを示した。当町にも返礼品の拡充等で平成27年度県下で2番目の1億円を超える寄付が寄せられた。

しかし、全国的には返礼品競争が過熱し、新たな格差を生んでいる指摘もある。ふるさと納税の本来の趣旨と現状は。

① 返礼品比率は。



9,470万円

- ② 申込時に5項目より寄付者が選択方式。観光・産業への使途希望が多い。
- ③ 上限額は特に未設定。
- ④ 2月末時点寄付額

質問 新年度の施政方針には「島はひとつ」「合併」と言う文言は一言も見受けられない。

答弁 島はひとつについて、小豆島の人口が減少する中、避けておろすことができないテーマだと思う。島はひとつと言う観点に立つて、施策を考えたり対応しなければ、島全体の力が失われていく。

この3年間で多くの施策で両町が一緒に進めてきたと思う。今後、まだまだ2町が両輪となり進めていく施策は数多くあると思われるが、改めて「合併」についての考えは。

また土庄町長との「合併」についての話し合いは、この3年間にあったのか。

質問 内海病院跡地の新介護保険施設の運営について、2月になり初めて議会へ詳細が示された。

先日のお健運営審議会にも同様の説明があり、年間約6,500万円余りの赤字が数年続くとの内容であった。

委員からも厳しく赤字の改善策を指摘された。数年後に指定管理移行の考えがあるようだ。開設当初から赤字覚悟でスタートし、数年続くことが我々には考えられないが、見解は。

改善に向け、経営の効率化に努め、経費の節減、スタッフの適所配置を行い、なるべく早く指定管理者による運営をめざしたい。

また土庄町長とは合併をめざしている点では、意見は一致していると思うが、具体的な議論はしていない。

答弁 病院施設の有効利用と特養老人ホームの待機者解消のため、整備をすすめている。現在の老健施設は病



改修中の介護保険施設

町民の暮らしを守る施策は

町「健康づくりなどの

取り組みを進める」



鍋谷真由美 議員

の負担を少しでも和らげるために、医療費の中学校卒業までの無料化などの取り組みを行っている。

社会保障の負担を抑えるため、小豆島中央病院を核とした地域包括ケアを推進し、健康づくりや介護予防に取組む。また、地場産業の活性化、新しい産業づくりに向けた取り組みを進める。

質問 国がすすめる社会保障費の「自然増削減」路線が国民の生存権を脅かし、将来不安を増大させている中、町民の暮らしと経済状況についてどのような認識を持っているのか。町民の暮らしを守るための取り組みは。

答弁 平成28年度の1人当平均所得は約236万円で、県内で一番低く、多くの町民の暮らしはとて



介護予防運動教室の様子

国保広域化で 保険税引き上げはするな

町「1年かけて議論し対応する」

質問 国保の県広域化で、国保税の値上げと給付抑制の押しつけが強まり、住民の声が届かなくなる心配がある。

一般会計からの繰り入れを継続し、保険税の引き下げをすること、少なくとも引き上げはしないことを求める。また、保険証を個人別のカードにしてもらいたい。

答弁 平成30年度以降、国が国民健康保険への財政支援を拡充するほか、都道府県が国民健康保険の財政運営の責任主体として、事業運営の中心的な役割を担う。

広域化に向け、県から示される標準保険料率を参考に、国保会計

行すが、これまでのサービスを維持できるのか。

答弁 国の見直しは限られた財源で最大限の効果を発揮するために、やむを得ないと思う。

シルバー人材センターなどの協力で軽度家

就学援助制度の改善を

町「入学準備費用

引き上げなど行う」

質問 就学援助制度の新入児童生徒の入学準備費用の単価引き上げと、現在7月の支給時期の入学前への変更を。

する場合は補正予算で対応する。

答弁 平成29年度支給額から単価の引き上げを行い、5月支給にする。3月支給は平成30年度

入学者から実施



入学式の様子

視察研修報告

総務建設・教育民生の2常任委員会は、平成28年11月30日～12月2日にかけて、合同で長野県箕輪町と信濃町で視察研修を行いました。

長野県箕輪町

研修事項① 『議会活性化について』

箕輪町議会について
15名の議員で構成され、2つの常任委員会と3つの特別委員会があり、今回は、議会活動活性化委員会の活動について研修をした。
木村英雄議長、小島常男議員、向山章議会運営委員長の3名が説明をされ、笠原事務局長が補足説明をした。



議会基本条例制定までの経過について

平成19年6月
議会で議長から議会の活性化について諮問された。

平成20年2月から
早稲田大学マニフェスト研究所
神奈川県愛川町議会を研修

平成21年1月から
全国町村議長会の岡本議事調査部長の指導をうけながら、他議会の議会基本条例の研修をし、条本文の検討を何度も重ねた。

平成22年12月
12月議会で「箕輪町議会基本条例」が制定された。

研修を終えて

議員として果たすべき役割を議会基本条例として明文化して6年が経過した。

その成果として、広く住民から意見を聴く努力を行うこと、また、議員自ら研究や研修の努力を行い、専念しなければならぬとの心構えを常に持たなければならぬとの意識付けを持つことが出来ており、見習う点であると感じた。

研修事項② 『健康づくりについて』

箕輪町は、「健康づくり日本一の町を目指して」をスローガンに子どもから高齢者まで各ライフステージにおける健康増進事業を推進することで、自身の健康づくりから、町民の健康づくり・地域づくりへと発展させている。

その活動と成果が認められ「第3回健康寿命をのばそう！アワード」で厚生労働省健康局長優良賞を受賞している。

研修を終えて

今回、研修したのは「運動とコミュニケーション」の理論と実践を学び「楽しく、仲よく、あたたかく」をモットーとして平成17年度から実施している健康教室 みのわ健康アカデミー事業（中高年者対象）では、月々木曜日までの各曜日12人で編成して1年間活動をする。

内容は検査・測定・専門家による個別相談に基づき週1回の個別運動プログラムによるトレーニング・健康づくり習慣（食事運動）の学習を実施して個人の健康レベルを向上させ、コミュニケーションを重視することにより仲間作り、地域作りをめざす。

成果として参加者の教室継続率は99.3%、1年間の活動卒業2年後の医療費は非参加者と比べ1人平均15万円少なく、介護保険への移行も5.16%減となっている。

研修を終えて

小豆島町においても健康長寿に対する様々な取り組みをしているが、箕輪町では、アカデミー事業を卒業してからも自主的にOB会が発足するなど継続した取り組みによって、統計的に効果が表れている。

継続は力なりという言葉が、継続することによって、町民の意識が深まっているからだと感じた。

長野県信濃町

研修事項

『義務教育学校について』

信濃町は平成24年度に、1中学校と4小学校を統合し、小中一貫校として運営されて法律改正に伴い、義務教育学校となった。

小中一貫教育に踏み切った経緯・経過、及び学校施設の見学を行った。

研修を終えて

学校施設では、雪国ならではの対策が取られ、また木材が多く使われていて優しい学習環境が作られていると感じた。

第二次反抗期の生徒が見られない等、義務教育学校が生み出す新たな可能性を知ることができた。

地元住民が学校を支える中で、義務教育学校と称しながらコミュニティ学校でもあるという点で、今後の学校の在り方について参考になる研修となった。



視察の様子（信濃小中学校）

2月8日に星城・苗羽小学校の児童12人、
2月15日に池田・安田小学校の児童12人による、小学生議会が開かれました。

町に対して、子どもの視点からみた、町づくりに対する質問が行われました。



12人の星城・苗羽小学校議員の皆さん

すざばやし まさみち (星小)
杉林 真路 議員



(質問) バス停や細い道にも街灯を付けてほしい。

(答弁) 犯罪予防のために街灯を設置することはいいことだが、費用の問題もあるので、自治会と話し合いの場を持ちたい。

はね みずほ (星小)
羽根 瑞穂 議員



(質問) 小豆島の考えている「大串半島活性化プラン」について教えてほしい。

(答弁) 大串半島の活性化について、小豆島の方が勝手に提案する企画であり、トンネルでつなぐ等、107件の提案があった。

はらだかりぶ (星小)
原田夏里生 議員



(質問) 働く場所が増えると住む人も増え、少子高齢化や空き家問題が解決するのでは。

(答弁) 今ある会社が雇用を増やしたり、島外から会社を呼び込んで働く場所を確保したりする方法があるが、町として必要な支援を行いたい。

ひろせ こうき (星小)
広瀬 光希 議員



(質問) 空き家を利用して小豆島の特産品や食材を使った料理を提供する店や民宿を作ってみては。

(答弁) 様々な分野で活躍されている皆さんのアイデアをいただきながら、空き家活用を進めていきたい。

いまじょう りん (星小)
今城 凜 議員



(質問) 幅広い世代の人が楽しめる水族館を建設してみても。無理なら出張水族館はどうか。

(答弁) 水族館の話はあったが、実現には至らなかった。立派な建物は難しいが、出張水族館であれば、実現に向けた方法を考えたい。

あきやまひまり (安小)
秋山陽菜里 議員



(質問) ふるさと村にアスレチックを設置してみても。

(答弁) 開村から20年経過しており、計画的に修繕・改修を行っている。新たな体験施設も検討していきたい。

おかだ あきひろ (苗小)
岡田 旺大 議員



(質問) 生産人口を増やす取組や町おこしの取組はどのように考えているか。

(答弁) 生産人口増加への取組として「空き家バンク制度」や、新しいビジネスを始めようとする熱意のある方に助成金制度等がある。

かたおか しょうと (苗小)
片岡 憧斗 議員



(質問) 事故の少ない町を目指してどのような取組をしているのか。

(答弁) カーブミラーや手すりの設置、反射材のタスキ等の配布や交通安全キャンペーンの実施等を行っている。

あたけ なつほ (苗小)
阿竹 夏穂 議員



(質問) 病院が、遠くなり待ち時間も長くなりしんどかった。対応策はあるのか。

(答弁) 距離に関してはご理解をいただきたい。待ち時間対策として「お知らせメール」の配信やシステムによる事務作業効率化を行っている。

こだま とうま (苗小)
児玉 柁真 議員



(質問) 小豆島ではどのようなイノシシ対策をしているのか。

(答弁) 生ごみなどをきちんと処理する指導、金網などの柵を設置、捕獲と3つの方法を行っている。

ほんだ 本多さくら (苗小)
本多さくら 議員



(質問) 安全性と利便性の点からバス停に駐輪場を作る予定はあるか。

(答弁) 通学に関するアンケートを実施した結果、1か所駐輪場の整備を行うこととなった。今後も計画的に整備を行いたい。

いたくら みづき (苗小)
板倉 瑞起 議員



(質問) 新高校について、島外の方々にどのような魅力をアピールするのか。

(答弁) 県下の中学3年生にお知らせをしているが、積極的に勧誘はしていない。島外生徒については、徐々に増やしていきたい。



町内4小学校による 小学生議会

12人の池田・安田小学校議員の皆さん

おの こうへい (池小)
小野 皓平 議員



(質問) 池田の道路は道幅が狭いので危ない。歩道や自転車専用レーンをつくってみては。

(答弁) 時間も費用もかかる大工事である。皆さんが自転車で安全に通学できるよう順次整備を進めているところである。

やぎ たいち (池小)
八木 太一 議員



(質問) そうめんづくりや花づくり等、昔から続いている産業をさかんにする計画は。

(答弁) 素麺産業には「小豆島手延素麺」PR事業やトレードショーへの出展支援、農業には農業施設更新の補助等を行っている。

こうもと あやな (池小)
高本 采奈 議員



(質問) 遊ぶ場所が減っているので、安全に遊べる公園や広場などの公共施設を作ってほしい。

(答弁) 新しい公園を作る計画はない。小豆島は自然豊かなところであり、その恵まれた環境を生かして遊んでいただきたい。

ふじもと みく (池小)
藤本 実来 議員



(質問) 日本で多くの地震が起きているが、小豆島町の地震に対する備えは。

(答弁) 避難所の耐震化、津波から避難する広場の整備や備蓄等を行っている。

かわもと たくと (池小)
川本 拓斗 議員



(質問) 粗大ごみを勝手に捨てられないようにするための取組は。

(答弁) 不法投棄禁止の看板の設置や、監視カメラによる監視行動を行っている。またごみの減量化を図る取組も行っている。

のざわ みこと (池小)
埜澤 美琴 議員



(質問) 移住者への空き家の賃借以外に町でされている空き家対策はあるか。

(答弁) 空き家が適切に管理されるよう所有者に連絡を取ったり、空き家リフォームの補助制度を設けたりしている。

うじ え あや (安小)
氏江 彩 議員



(質問) 船の運賃が安くなれば、今より利用しやすくなり、交流する機会も増えるのではないか。

(答弁) フェリーに対する助成制度は見つからないが、支援が受けられるよう、国や県に働きかけていきたい。

たかはし あつき (安小)
高橋 充希 議員



(質問) 小豆島中央病院において待ち時間が長いなどの課題があり、どのように解決する予定か。

(答弁) システムによる事務作業の効率化、予約診療による日程の調整や、待ち時間を「ふれあい広場」でくつろげるようにしている。

やまもと こうそう (安小)
山本 康蔵 議員



(質問) 小豆島の石をたくさん使ってもらうためにどんな考えを持っているか。

(答弁) 御城の石垣の修理など、日本文化を守るために、小豆島の石がいろんなところで使われるようにしていきたい。

もりもと さゆき (安小)
森本 彩路 議員



(質問) 芸術祭が3回開催されたが、どんな目的で行っているのか。

(答弁) 島の皆さんが自信と誇りを取り戻し、地域が元気になることを目的としている。

なかがわ ひろと (安小)
中川 大都 議員



(質問) B & Gのグランドにクラブハウスを作る予定はあるか。

(答弁) クラブハウスを作る予定はない。体育館にミーティングルームがあるのでそちらを利用していきたい。

ながまち ゆきこ (安小)
長町有希子 議員



(質問) 2020年の東京オリンピックにおいて、小豆島での合宿を働きかける予定は。

(答弁) 設備・施設・宿泊等の規模を考えると現実には難しい。町としてオリーブの冠を金メダリストに贈呈するよう働きかけている。



「地域の力を 集結して」

松村 英明

(福田自治連合会 会長)

福田地区自治連合会は、395世帯、人口800人、3地区と吉田地区で構成され、小豆島の東部に位置し、姫路とフェリーで結ばれ関西圏からの玄関口となっています。

昭和50年頃までは、石材産業や海運業が隆盛を極め活気に充ちていましたが、徐々に地場産業が衰退し、同じくして急激に人口減少が進み小豆島の中で一番高齢化率が高く、活力が失われていました。

2013年、旧福田小学校が福武ハウスに生まれ変わり、多くの外国の人と関わりを持ち、少しずつですが元気が出てきたように思われます。一昨年アジア・アート・プラットホームが縁で、台湾・桃園市新屋区と地域友好協定が結ばれ、

昨年7月に新屋から5名の代表が福田に滞在し、地元住民と交流を深めました。これからも大切に交流を続けていければと思っています。

地区の課題としては、中核病院が遠方になり医療を受けるのも一苦勞、救急搬送にも時間がかかり大きなハンデを背負っています。

少子化で福田の伝統行事も存続の危機に直面しています。

自治会や各種団体の皆さんがいろいろアイデアを出しながら活動しており、福武ハウスを核に、福田の元気づくりに取り組んでいます。行政の力もお借りしながら、この地が少しでも光が当たるように、将来に向けて頑張っています。



福田港の様子

昭和50年頃までは、石材産業や海運業が隆盛を極め活気に充ちていましたが、徐々に地場産業が衰退し、同じくして急激に人口減少が進み小豆島の中で一番高齢化率が高く、活力が失われていました。

協働のまちづくり事業を契機に会を設立し、桜園地への道の設置・開墾・桜の



城山保存会



会長 安井

城山保存会は、かつて島内きつての風光明媚な桜の名所として賑わった城山桜公園を復活させるために平成22年発足しました。先人により昭和8年、須佐美紀伊守を奉る城山神社が建立され周辺に桜の造園地が作られました。昭和29年映画「二十四の瞳」のロケ地になり広く知られるようになった。しかしながらソメイヨシノの老木が枯れ、花見の場所も交通の便がいい所へと移っていき

植え付けをし、国民宿舎から続く稜線は桜色に染まるようになつてきました。

その甲斐もあつてかテレビドラマのロケ地にもなり、シーズンオフでも観光客が訪れるようになつてきました。

これからの課題は、一過性に終わることなく活動を続け地域の魅力づくりに期したいと考えています。

編集後記

3月議会は平成29年度の予算を審議する重要な議会でもありません。

住民の皆様が幸せを実感出来るように、それぞれの議員が質疑をしました。

現在、小豆島町議会では議会活性化委員会を設置し、より開かれた議会を目指し取り組んでいます。

時代は物凄い勢いで日々変化をしています。

時代の変化とともに、私達も変わらなければいけないのです。危機感がない人は周りが変わってくれば良いと思つています。

周りを変えるためには、自分が変わらなければなりません。

今のやり方が正しいのかどうか、疑問を感じて変わる勇気と変える勇気を持った議会でありたいと思います。

坂口 直人 記